

平成29年度 現代文B

教科(科目)	国語(現代文B)	学科(コース)・学年	全学科・3学年
使用教科書	新編 現代文B(東京書籍)		
副教材等	テスト式 国語常識の総演習(京都書房)		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することにより人生を豊かにする態度を育てる。

2. 指導の重点

・様々な文章を読み、構成・展開・要旨などを的確にとらえられるようにする。
 ・漢字テストの実施やプリント学習を通して、漢字の読み書き・語句の意味などの理解を深め、語彙力を向上させる。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1学期	Ⅱ部 1 評論1:時代をひらく ・「最初のペンギン」 ・「もう一つの知性」 2 小説1:生のかたち ・「山月記」 ・「カンガルー日和」	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の構成・展開などを的確にとらえ、筆者の主張を理解する。 ・文中に登場する難解な語句の意味、用法を的確に理解する。 ・筆者の考え方を参考にして、現代社会を生きるうえでどのような態度が必要なのか考える。 ・筆者の提示する「知のあり方」とはどのようなものか理解し、改めて「知性」というものに対する理解を深める。 ・場面の展開や登場人物の性格、心理描写などの確に読み取る。 ・登場人物の思考や行動を通して、人間のあり方、生き方についての考えを深める。 ・文中に登場する難解な漢語表現の意味、用法を的確に理解する。 ・優れた小説が、構成や表現の面でどのように工夫されているかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート・プリントの確認 ・授業の取り組みの観察
2学期	3 随想:新しい視点から ・「カフェの开店準備」 4 詩歌:心のうた ・「竹」 ・「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方・感じ方・考え方をつかむ。 ・個性的な表現を味わい、随筆の面白さや魅力に気づく。 ・筆者の提示する独自の視点について考えることを通して、自らの視野を広げる。 ・比喩などの詩的な表現への理解を深め、詩歌に込められた作者の心情を 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート・プリントの確認 ・授業の取り組みの観察

	<ul style="list-style-type: none"> ・「一日の長さ」 ・「春雷」(俳句) <p>5 評論 2 : 現代を生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『環境史』から考える <p>6 小説 2 : 虚構と真実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鞆」 	<p>味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な詩歌を読み多様な表現を深く味わうことで、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにする。 ・体言止め、句切れ、切れ字などの修辞技巧を理解する。 ・評論文に使われる特殊な用語、難解な表現を理解する。 ・評論文の構成・展開などを的確にとらえ、筆者の主張を理解する。 ・自然・環境や、社会問題に対する理解を深める。 ・物語の展開、内容を正確に理解し、作者の提示するテーマに対する理解を深める。 ・超現実主義的な作品の読解を通して、奇抜な着想や象徴的かつ暗示的な表現の仕方への理解を深める。 	
3 学期	<p>6 小説 2 : 虚構と真実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「葉桜と魔笛」 <p>7 評論 3 : 明日をみつめて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ホンモノのおカネの作り方」 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景や虚構性に注意して小説を読み、描かれた世界を的確に把握する。 ・登場人物の思考や行動を通して、人間のあり方、生き方についての考えを深める。 ・評論文に使われる特殊な用語、難解な表現を理解する。 ・評論文の構成・展開などを的確にとらえ、筆者の主張を理解する。 ・現代社会と人間との関わりについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート・プリントの確認 ・授業の取り組みの観察

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

具体的な評価の対象

・定期テスト ・单元ごとの小テスト ・提出物 ・授業での取り組み

5. その他 (留意すべき点・担当者からの一言)

学習状況に応じて、新たな教材を取り入れるなど授業内容に変更が生じることもあります。授業ではできるだけ多くの文章を扱う予定です。